

科目区分	専門教育科目	授業科目名	時事研究			科目コード	26L111	担当者	小林 寿人			担当形態	単独	
対象学科・コース	生活創造学科 地域未来創生コース	配当年次	2年次	開講学期	春学期	単位数	2	必修・選択の別	必修	免許・資格要件				
授業形態	講義	履修条件									教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分		
実務の経験を有する教員担当科目			実務の経験内容及び科目との関連										科目に含めることが必要な事項	

授業の主題	メディア情報に習慣的に触れることによって現代社会の仕組みと問題点を理解し、社会人としての常識を身につける。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	提出物は授業内で解説し、さらなる意見・質問を促す。
授業の方法	講義形式を取るが、基本的にはアクティブラーニング形式で実施。新聞記事を主な教材として社会で起きているさまざまな問題に対しグループディスカッションを通じて多様な意見・考え方を認識するとともに、知識と思考力を養うことを目的とする。	アクティブ・ラーニングの実施方法	新聞記事を主な教材として社会で起きているさまざまな問題に対しグループディスカッションを通じて多様な意見・考え方を認識する。

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	授業の概略	授業内容に関わるニュースへのアクセス	第9回	環境問題について考える (SDGsなど)	授業内容に関わるニュースへのアクセス	
第2回	社会の動きを知る (新聞記事を読み解く①)	授業内容に関わるニュースへのアクセス	第10回	環境問題について考える (ワークショップ①)	授業内容に関わるニュースへのアクセス	
第3回	社会の動きを知る (新聞記事を読み解く②)	授業内容に関わるニュースへのアクセス	第11回	環境問題について考える (ワークショップ②)	授業内容に関わるニュースへのアクセス	
第4回	社会の動きを知る (新聞記事を読み解く③)	授業内容に関わるニュースへのアクセス	第12回	自己表現 (学校新聞の制作)	授業内容に関わるニュースへのアクセス	
第5回	文章表現を知る① (文章の構成)	授業内容に関わるニュースへのアクセス	第13回	自己表現 (自己PR新聞の制作①)	授業内容に関わるニュースへのアクセス	
第6回	文章表現を知る② (要点をつかむ)	授業内容に関わるニュースへのアクセス	第14回	自己表現する (自己PR新聞の制作②)	授業内容に関わるニュースへのアクセス	
第7回	文章表現を知る③ (究極の文章要約とは)	授業内容に関わるニュースへのアクセス	第15回	プレゼンテーション (自己PR新聞の発表)	授業内容に関わるニュースへのアクセス	
第8回	文章表現を知る④ (想像力を鍛える)	授業内容に関わるニュースへのアクセス			事前・事後学修時間 (分/授業1回)	180分/授業1回

教科書 [書名/著者名/出版社]	必要に応じて新聞紙面などのプリントを配布する。	受講生へのメッセージ	この講義のキーワードは「セレンディピティ」。身の回りのさまざまな出来事に関心を持ち、何事にも疑問を持って生活すると思わぬ発見や出会いが生まれます。SNS経由以外で入ってくる生の情報にも目を向けてください。
参考書 [書名/著者名/出版社]	なし		

